



## 投資家のみなさまへ

### 第43期 事業報告書

平成16年4月1日 ▶ 平成17年3月31日



株式会社 ノジマ

〒229-1122 神奈川県相模原市横山1-1-1

TEL.042-753-1422(代) FAX.042-758-6560

「投資家のみなさま」専用メールアドレス info@nojima.co.jp

<http://www.nojima.co.jp>

い〜でじ!!ホームページURL

- い〜でじ!!本店 : <http://www.enet-japan.com/>
- い〜でじ!!楽天市場店 : <http://www.rakuten.co.jp/edigi/>
- い〜でじ!!楽天ゲーム館 : <http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/>
- い〜でじ!!楽天シネマ : <http://www.rakuten.ne.jp/gold/cinema/>
- い〜でじ!!Yahoo店 : <http://store.yahoo.co.jp/digicon/>
- い〜でじ!!映画館 : <http://store.yahoo.co.jp/digiconeiga/>
- い〜でじ!!ライブドア店 : <http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-ld/>
- い〜でじ!!ムービー : <http://tenant.depart.livedoor.com/t/edigi-movie/>
- 株式会社テレマックス : <http://www.telmax.co.jp>



## ■ 全員経営理念 ～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

- 社会に貢献する経営
- オープンで公正な経営
- 独創的で革新的な経営
- 人間愛がある経営
- 向上心がある経営

## ■ ごあいさつ

投資家のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成17年3月31日をもって、当社第43期の営業を終了いたしましたのでここにご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、企業収益の改善、民間設備投資の増加や順調な輸出の伸びに支えられ、一部に明るい兆しは見られたものの、

昨年後半より一部経済指標に停滞感が見えはじめ、さらには雇用情勢の厳しさ、社会保険料負担の増大や定率減税の縮小などによる

先行き不安感のため、個人の消費マインドは依然として盛り上げに欠ける状況が続きました。当社をとりまくデジタル家電業界は、

期前半はアテネ五輪の特需効果が大きく、薄型テレビ、DVDレコーダーといった映像関連商品が順調に拡大、さらに猛暑の影響もあり

夏場のエアコン需要は順調に拡大いたしました。しかし、その他分野の商品群の需要は総じて弱く、期後半にはデジタル家電についても

五輪特需の反動と価格競争の激化で業界内では消耗戦の様相を呈し、通年で見た際の業界全体での伸びは微増でした。

このような状況の下、当社では積極果敢にスクラップ&ビルドを推進し、不採算店や新店と商圈が重なる7店舗を閉店し、その一方で、

新たに6店舗を開店いたしました。(でんわ専門店の3店舗の開店を除く)。また、家電部門やAV部門の強化等を目的に、8店舗を改装し

リニューアルオープンいたしました。当社における販売の状況につきましては、パソコン本体の売上は、改善しておりますが、まだまだ前年を下回る

厳しい状況が続きました。一方、AV家電等のデジタル家電商品の売上が夏場に飛躍的に拡大し、年間を通して好調な推移をいたしました。

また、携帯電話は第3世代携帯電話が牽引し、販売台数は昨年に比べ大きな伸びを示しました。なお、新たな試みとして、昨年10月に藤沢店内に

HiFiオーディオ専門店の「オーディオスクエア」をオープンし、本年3月にはヤフーショッピングにも出店し、オーディオファンから好評を博しております。

さらに、昨年11月に大型店舗において法人営業の立ち上げをいたしました。Eコマース事業の関連会社、「株式会社イーネット・ジャパン」は

昨年8月にヘラクレスに上場を果たしました。上場後は、持分法適用会社となっておりますが、営業戦略、内部管理体制等より連携を深め最大限の

シナジー効果を発揮することを目的とし、平成17年3月期より再度連結対象の子会社化いたしましたので、さらに指導監査を強化してまいります。

このような結果、当期ノジマ個別売上高は前年同期比4.9%、経常利益は207.4%と増収増益決算となりました。

当期純利益につきましても過年度発生の特損計上による特損計上をカバーし、前年同期比243.2%となりました。

また、グループ全体としましては、ソロン株式会社、株式会社テレマックスの好調な業績推移により、

連結売上高は前年前期比1.9%の増収となりましたが、株式会社イーネット・ジャパンの掛債権遅延による

特損計上を行った事により、経常利益92.4%、当期純利益103.8%となりました。

今後も、グループの総合力を高めながら、投資家の皆様の期待に応えられるよう収益体質の改善に

努力をしてまいりますので、皆様の変わらぬご支援とご指導をよろしく願いたします。



代表執行役社長 野島 廣司

## ■ Q&A

### Q 今期の見通しについてお聞かせください。

**A** わが国経済は、企業収益は好調であるものの、年度後半から景気減速傾向が見られ、個人消費の本格回復には不透明感が漂い、

当社を取り巻く環境は引き続き厳しいものになると予想されます。そうした状況におきまして、デジタル家電業界は、

AV分野は地上デジタル放送の広がり、液晶ディスプレイを中心とした薄型大型テレビの低価格化により、順調な伸びを示すものと予想されます。

しかし、業界全体におきましては個人消費の動向は引き続き厳しい事が予想され、需要の拡大はさほど期待できないと考えております。

このような中で、当社は、常にお客様の立場に立って、お客様にご満足頂けるよう行動し、結果としてお客様にご支持頂けるように努めてまいります。

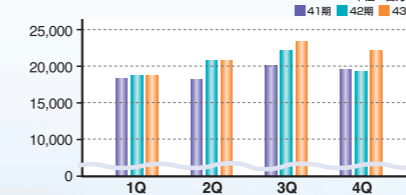
具体的には、品揃えの強化を推進すると共に、お客様のニーズと信頼に迅速かつ確にこたえられる人材の育成と店舗づくりにかけていきたいと考えております。

他方、通信部門子会社も黒字体質が定着しており引き続き売上高、利益両面で貢献できる見通しにあります。

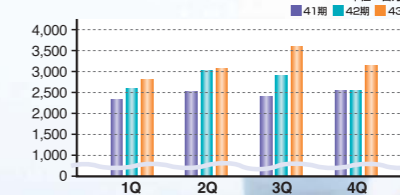
上記の方針のもと、通期見通しとしては、単体では売上高950億円、経常利益26億円、連結では売上高1,120億円、経常利益32億円を見込み、

純利益につきましては、単体11億円、連結14.6億円を公表しておりますが、さらに上方を目指してまいります。

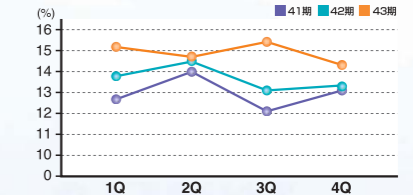
売上高の推移 単体



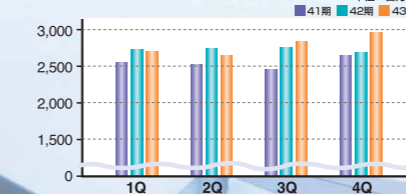
売上総利益の推移 単体 (ポイント販促費を除く)



売上総利益率の推移 単体 (ポイント販促費を除く)



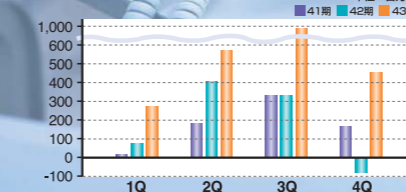
販管費の推移 単体 (ポイント販促費を除く)



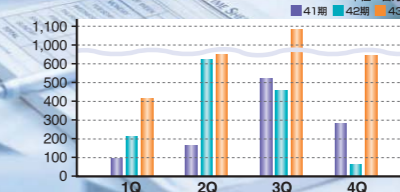
販管費比率の推移 単体 (ポイント販促費を除く)



経常利益の推移 単体



経常利益の推移 連結



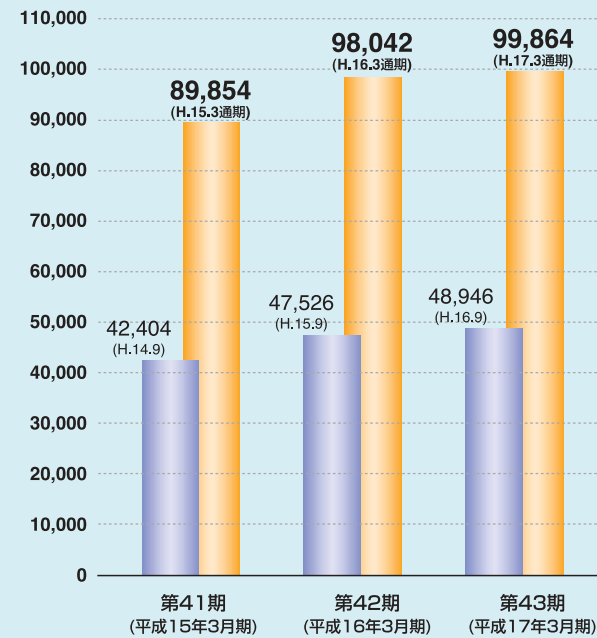
## ■財務ハイライト (平成16年4月～平成17年3月)

### 連結

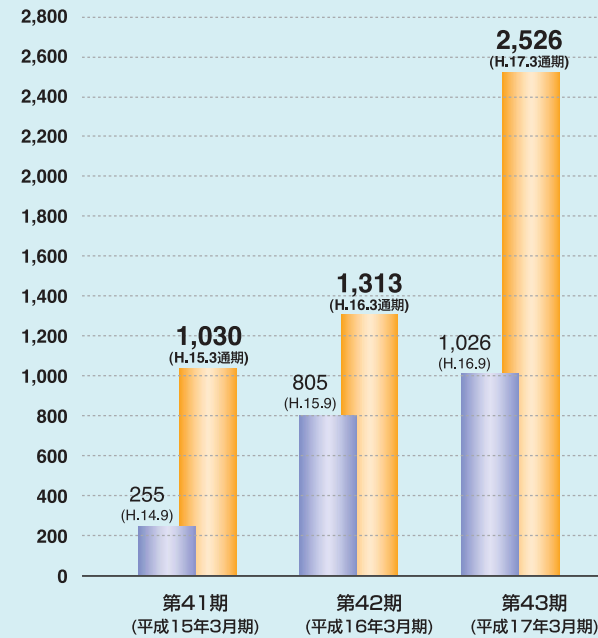
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■売上高/998億6,400万円 ■経常利益/25億2,600万円 ■純利益/10億1,900万円

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



連結	第41期 平成15年3月通期	第42期 平成16年3月通期	第43期 平成17年3月通期
売上高	89,854	98,042	99,864
経常利益	1,030	1,313	2,526
純利益	187	500	1,019
1株当たり純利益(円)*	14.20	36.49	72.45
総資産	32,521	32,481	34,778
純資産	6,026	6,748	7,519

\*平成16年8月20日付をもって、普通株式1株を2株に分割しているため、41・42期の1株当たり純利益を同条件に変更しております。

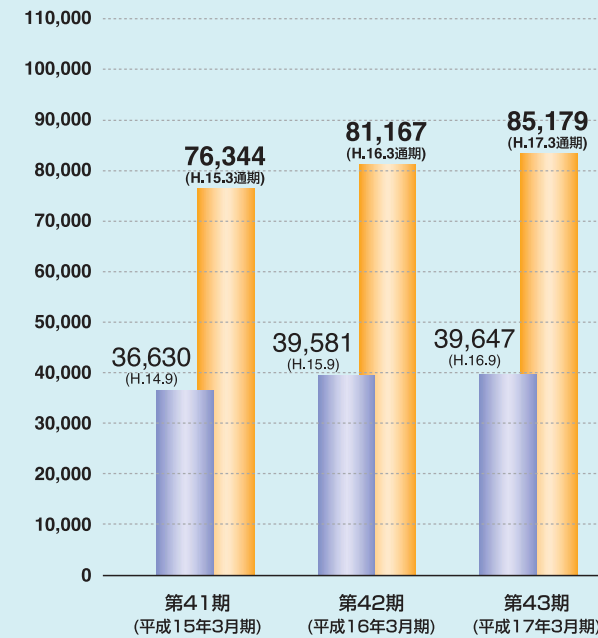
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

### 単体

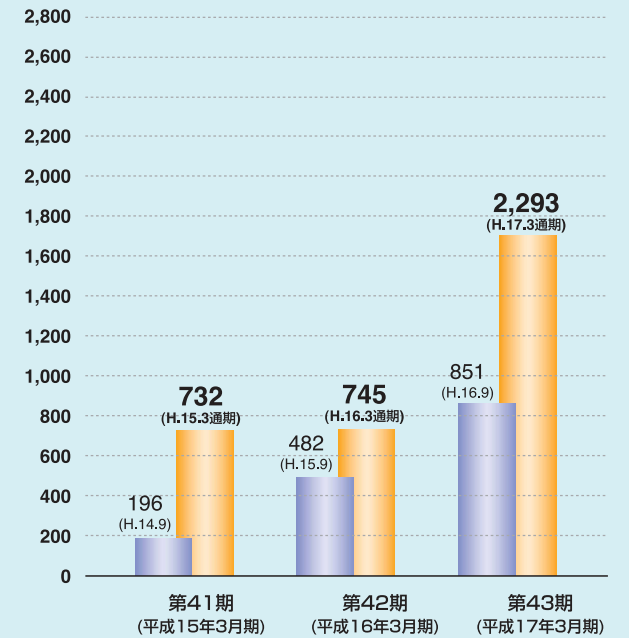
(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■売上高/851億7,900万円 ■経常利益/22億9,300万円 ■純利益/8億5,700万円

売上高の推移 (単位:百万円)



経常利益の推移 (単位:百万円)



単体	第41期 平成15年3月通期	第42期 平成16年3月通期	第43期 平成17年3月通期
売上高	76,344	81,167	85,179
経常利益	732	745	2,293
純利益	2	249	857
1株当たり純利益(円)*	0.16	36.44	60.95
総資産	29,401	29,337	30,772
純資産	5,968	6,439	7,044

\*平成16年8月20日付をもって、普通株式1株を2株に分割しているため、41・42期の1株当たり純利益を同条件に変更しております。

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

## ■ 決算の概況 (平成17年3月31日現在)

### 連結

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

貸借対照表(期末) 平成17年3月31日現在、前期は平成16年3月31日現在。

	第42期 (通期)	第43期 (通期)		第42期 (通期)	第43期 (通期)
現金及び預金	3,849	4,337	支払手形及び買掛金	7,763	9,739
受取手形及び売掛金	4,786	5,435	短期借入金	1,095	690
たな卸資産	9,470	9,799	1年以内返済予定長期借入金	2,213	2,464
その他	1,379	1,475	1年以内償還予定社債	100	120
貸倒引当金	—	▲465	未払金	2,043	2,385
流動資産合計	19,484	20,582	未払法人税等	699	654
建物及び構築物	3,594	3,659	その他	1,137	784
土地	1,681	1,644	流動負債合計	15,052	16,838
その他	787	965	社債	1,650	1,630
有形固定資産合計	6,062	6,269	長期借入金	6,436	6,066
無形固定資産合計	316	704	退職給付引当金	748	715
差入敷金及び保証金	4,926	4,950	その他	1,275	1,331
その他	1,770	3,001	固定負債合計	10,109	9,743
貸倒引当金	▲79	▲25	負債合計	25,162	26,582
投資その他の資産合計	6,617	7,222	少数株主持分	570	676
固定資産合計	12,996	14,195	資本金	1,529	1,529
			資本剰余金	1,945	1,945
			利益剰余金	3,240	4,086
			その他有価証券評価差額金	45	41
			自己株式	▲12	▲83
			資本合計	6,748	7,519
資産合計	32,481	34,778	負債・少数株主持分及び資本合計	32,481	34,778

損益計算書(通期) 平成17年3月31日現在、前期は平成16年3月31日現在。

	第42期 (通期)	第43期 (通期)
売上高	98,042	99,864
売上原価	82,720	83,952
売上総利益	15,322	15,912
販売費及び一般管理費	14,576	13,763
営業利益	746	2,148
営業外収益	859	846
営業外費用	292	469
経常利益	1,313	2,526
特別利益	74	216
特別損失	213	670
税金等調整前当期純利益	1,174	2,072
法人税、住民税及び事業税	777	927
法人税等調整額	▲260	50
少数株主損失(▲少数株主利益)	157	75
当期純利益(▲当期純損失)	500	1,019

### 単体

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

貸借対照表(期末) 平成17年3月31日現在、前期は平成16年3月31日現在。

	第42期 (通期)	第43期 (通期)		第42期 (通期)	第43期 (通期)
現金及び預金	3,606	3,236	支払手形	46	42
受取手形	131	84	買掛金	6,755	8,193
売掛金	2,807	3,276	短期借入金	610	200
たな卸資産	8,679	8,934	1年以内返済予定長期借入金	2,153	2,404
その他	1,314	1,358	1年以内償還予定社債	100	100
流動資産合計	16,537	16,889	未払金	1,789	2,075
建物	3,335	3,449	未払法人税等	522	528
土地	1,681	1,644	その他	1,019	772
その他	883	993	流動負債合計	12,994	14,316
有形固定資産合計	5,899	6,087	社債	1,650	1,550
無形固定資産合計	232	141	長期借入金	6,296	5,891
差入敷金及び保証金	4,802	4,776	退職給付引当金	687	645
その他	1,865	2,877	その他	1,270	1,324
投資その他の資産合計	6,667	7,653	固定負債合計	9,903	9,410
固定資産合計	12,799	13,882	負債合計	22,897	23,727
			資本金	1,529	1,529
			資本準備金	1,945	1,945
			利益準備金	80	80
			任意積立金	97	97
			当期末処分利益	2,754	3,434
			その他有価証券評価差額金	45	41
			自己株式	▲12	▲83
			資本合計	6,439	7,044
資産合計	29,337	30,772	負債・資本合計	29,337	30,772

損益計算書(通期) 平成17年3月31日現在、前期は平成16年3月31日現在。

	第42期 (通期)	第43期 (通期)
売上高	81,167	85,179
売上原価	68,720	71,659
売上総利益	12,446	13,520
販売費及び一般管理費	12,283	11,816
営業利益	163	1,703
営業外収益	818	818
営業外費用	235	228
経常利益	745	2,293
特別利益	32	7
特別損失	218	652
税引前当期純利益	559	1,647
法人税、住民税及び事業税	539	709
法人税等調整額	▲229	80
当期純利益	249	857
前期繰越利益	3,366	2,648
当期末処分利益	2,754	3,434

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで。  
前期は平成15年4月1日から平成16年3月31日まで。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第42期 (通期)	第43期 (通期)
税金等調整前中間(当期)純利益		1,174	2,072
減価償却費		670	697
退職給付引当金の増加(▲減少)額		74	▲34
支払利息		227	229
販売商品保証引当金の増加額		247	36
持分法による投資損失		—	199
固定資産売却損		46	37
固定資産売却益		▲29	—
固定資産除去損		104	71
保証金等解約損		5	68
投資有価証券売却益		▲25	▲6
投資有価証券評価損		7	32
売上債権の(▲増加)額		▲153	▲683
たな卸資産の減少(▲増加)額		92	▲782
仕入債務の増加(▲減少)額		▲312	2,007
その他		▲214	▲240
<b>小計</b>		<b>1,913</b>	<b>3,703</b>
利息及び配当金の受取額		▲30	31
利息の支払額		▲292	▲226
法人税等の支払額		▲269	▲941
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>1,382</b>	<b>2,565</b>



### 投資活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第42期 (通期)	第43期 (通期)
定期預金の解約による収入		150	—
投資有価証券取得による支出		▲3	—
投資有価証券売却による収入		44	7
有形固定資産の取得による支出		▲1,765	▲821
有形固定資産の売却による収入		138	49
無形固定資産の取得による支出		▲79	▲123
長期前払費用の取得による支出		▲106	▲63
差入敷金及び保証金の預入による支出		▲406	▲646
差入敷金及び保証金の償還による収入		320	343
その他		235	▲307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>▲1,472</b>	<b>▲1,561</b>

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

区分	期別	第42期 (通期)	第43期 (通期)
短期借入金増(▲純減)額		▲2,952	▲405
長期借入による収入		5,000	2,100
長期借入金の返済による支出		▲1,929	▲2,218
社債の発行による収入		—	100
社債の償還による支出		▲1,100	▲100
少数株主へ株式発行による収入		—	596
自己株式の取得による支出		▲12	▲78
自己株式の売却による収入		301	—
配当金の支払額		▲98	▲174
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>▲791</b>	<b>▲179</b>

現金及び現金同等物の増(▲減)額	▲882	824
現金及び現金同等物期首残高	3,548	2,665
現金及び現金同等物期末残高	2,665	3,153

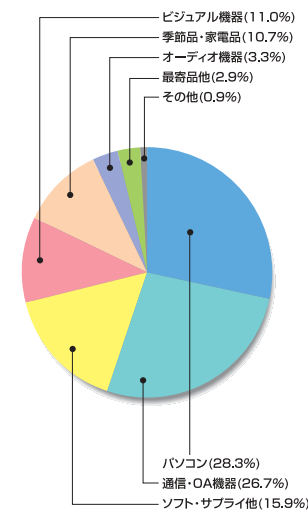
## ■ 品目別売上高

(平成16年4月1日～平成17年3月31日連結ベース)

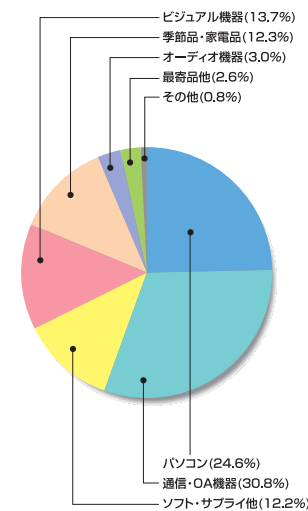
区分	期別	前決算 連結会計期間	当決算 連結会計期間
		(平成15年4月1日 平成16年3月31日)	(平成16年4月1日 平成17年3月31日)
パソコン		27,772	24,609
通信・OA機器		26,138	30,766
ソフト・サプライ他		15,543	12,129
<b>情報・通信商品群計</b>		<b>69,454</b>	<b>67,505</b>
ビジュアル機器		10,807	13,615
オーディオ機器		3,231	3,033
季節品・家電品		10,506	12,297
最寄品他		2,820	2,596
<b>AV・家電商品群計</b>		<b>27,670</b>	<b>31,542</b>
その他		918	816
<b>合計</b>		<b>98,042</b>	<b>99,864</b>

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

### ■ 第42期(通期)



### ■ 第43期(通期)



## ■ 株式の概況

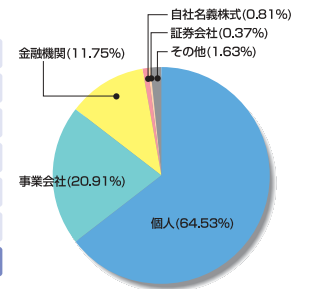
(平成17年3月31日現在)

### ■ 株式分布状況

- 会社が発行する株式の総数 ..... 28,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 14,112,200株
- 1単元の株式数 ..... 100株
- 株主数 ..... 3,700名

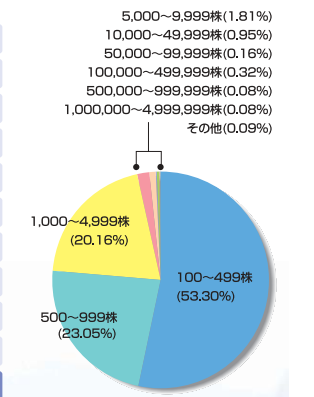
### ■ 株式の所有者別分布

金融機関	1,657,600株	11.75%
証券会社	51,700株	0.37%
事業会社	2,951,000株	20.91%
個人	9,107,000株	64.53%
自社名義株式	114,700株	0.81%
その他	230,200株	1.63%
<b>合計</b>	<b>14,112,200株</b>	<b>100.00%</b>



### ■ 株式の所有数別分布状況

100～499株	53.30%
500～999株	23.05%
1,000～4,999株	20.16%
5,000～9,999株	1.81%
10,000～49,999株	0.95%
50,000～99,999株	0.16%
100,000～499,999株	0.32%
500,000～999,999株	0.08%
1,000,000～4,999,999株	0.08%
その他	0.09%
<b>合計</b>	<b>100.00%</b>



※平成16年8月20日付をもって、  
普通株式1株を2株に分割しております。



## トピックス

## 1 株主優待制度の見直し

## お客様イコール株主様の促進

株主様が同時にお客様になって頂く事が私共の願いです。昨年8月に1株につき2株の割合で株式の分割を実施致しました。500株未満の株主様の優待制度を中止致しましたが、本年より500株未満の株主様へも、1万円分の優待割引券を配布させて頂き優待制度を復活致しました。10%優待割引券利用により、更にお買い得感を持ってお買い物をして頂けるものと確信しておりますので、ご利用をお待ちしております。

## 2 新しい商品にチャレンジ

## 買って良かったと体感できる商品の創出

当社では、世の中で売れている商品やブランド商品を含め、お客様が購入された商品を使用して、購入して良かったと心から感じる商品を推奨しております。昨年においては、ゲートウェイのPC「イーマシーンズ」の取り扱いや、HYUNDAI、台湾JEAN社等の高品質・廉価薄型テレビの取り扱い開始など、新規商品取り扱いに果敢に取り組みました。また、アテネ五輪開催中においては、パイデザイン社とタイアップし、商品購入後2週間以内であれば薄型テレビを無条件にて返品可能な施策を実施致しました。今後も、幅広いお客様のニーズに応えるため、常にお客様の立場に立って、新規商品、サービスに果敢に取り組んでまいります。

## 3 上海駐在事務所の設置

## 海外戦略の拠点へ

2008年の北京オリンピック、北京万博の開催並びに国外企業の参入により、マーケットが飛躍的に拡大している世界一の人口を誇る中国に、将来性を見据え本年4月に駐在事務所を設置致しました。現在、現地にて若手社員の育成を図りつつ、中国と日本のカルチャーを融合した新たなビジネスモデル構築に向け活動中です。

## 4 学生の逸才育成と学生の発想を経営へ

## 新しいビジネスを模索

昨年から、インターンシップの優秀者の中からもっとも可能性のあるビジネスモデルを提示した学生を国外に留学させる事と致しました。優秀な学生にビジネスチャンスを与える事で、将来的にその人間に、新しいビジネスモデルを提案させ、経営にチャレンジさせる事も視野に入れております。昨年においては、若年層の需要を把握し、学生の発想を店舗運営に反映させる事を考え、学生ベンチャーに六本木店の店舗運営のコンサルタントを任せました。また、学生ベンチャー「早稲田ルースター」にテレマックス高田馬場店の店舗運営を任せるといふ新しい試みも行いました。今後も、幅広い年齢層に支持されるノジマであり続けるために、有能な学生に様々なビジネスチャンスを与えてまいります。

## 5 HiFiオーディオ専門店、ネットショッピング進出

## リアルとバーチャルの融合による購買方法の拡充

HiFiオーディオのマーケットは、縮小過程にあります。オーディオ愛好者のお声に応えるべく、昨年10月に、ノジマの原点とも言える「HiFiオーディオ専門店 オーディオスクエア」をノジマ藤沢店内にオープン致しました。さらに、本年3月にヤフーショッピングに出店し、幅広いお客様に良い音を楽しんで頂けるように購買方法の拡充並びにサービス強化といった仕組みづくりを行っております。今後も良い音による感動の提供、心の満足をお客様にご提供できる売場を増加させるように進めてまいります。

## 6 スクラップ&amp;ビルドの促進

## 店舗効率の向上

店舗効率を高めるために、商圏が重複する地域や商圏の拡大が見込めない地域の店舗、規模的に取扱い商品が中途半端で採算的に厳しい店舗は早めにスクラップし、新規出店の大型店舗に統合してまいりました。また、積極的に改装を実施し、デジタル家電取扱い店舗を増やしてまいりました。その結果、43期は、7店舗を閉店し、デジタル専門店としては、都留店、NEW甲府店、鎌倉店、松本店、綾瀬店、市川店の計6店舗を新規オープン致しました。電話専門店としては、でんわ館府中、ドコモショップ藤原の計2店舗を新規オープン致しました。また、大井松田店、磐田店、藤枝店等の計7店舗を改装によって、リニューアル致しました。これらによって、店舗数は増加しておりますが、売り場面積は増加し、店舗効率が向上致しました。44期も引き続き、スクラップ&ビルドを進めてまいります。

## 7 人材派遣会社「OTS社」子会社化へ

## さらに良い人材が活躍できる環境へ

「企業は人なり」と申しますが、会社を真に強くするためには、雇用形態の区別なく、能力主義の徹底とオープンで公正な評価により、従業員のモチベーションを上げることが非常に重要であると認識しております。そのため、外部委託することなく、急激な変化に迅速に対応できるよう、人材派遣会社「オー・ティ・エス」を子会社化し、人材の活性化のため、従業員が適材・適所で活躍できる体制を構築いたしました。

## 8 カスタマーセンター設置

## CS向上のために

お客様の貴重なご意見を経営に生かす事を目的とし、昨年11月に「カスタマーセンター」を設置致しました。したがって、ホームページに加えて、当社主要広告媒体のチラシ、年末にお客様へ差し上げるカレンダーにおいても「カスタマーセンター」を通してお客様の意見をメールだけでなく、電話にでも頂けるようご案内をしております。「カスタマーセンター」の活用により更なるCSの向上を目指します。株主様からのご意見も大歓迎でございますので下記まで電話、メールをお寄せ下さい。お待ちしております。

tel : 042-701-5550 info@nojima.co.jp

## 子会社の状況

## 1 エコマース子会社(株)イーネット・ジャパン

## インターネットショップNo.1を目指して

インターネットショップ「eでじ!!」を運営する同社は前上期には、本店サイト立ち上げとともに、楽天、ヤフーに続き、ライブドアが運営する「ライブドアデパート」に2店舗出店致しました。また、前下期には、松下電器産業運営のテレビショッピング「Tナビ」に出店並びにKDDI公式モバイルサイトに店舗と新たなビジネスの拡充を図りました。その結果、8つのWEBサイトを運営し、顧客の認知、評価が高まり、着実に売上げを伸ばしてきております。前期はおかげさまで、晴れてヘラクレスへ上場する事ができました。上場後は、持分法適用会社となっておりますが、営業戦略、内部管理体制等より連携を深め最大限のシナジー効果を発揮することを目的とし、平成17年3月期より再度ノジマグループの連結対象の子会社といたしました。しかし、前期の決算に際しましては、商品代金の未回収が発覚し、決算の大幅下方修正をいたすことになりました。親会社としての管理監査不行届であったと反省しております。新体制のもと出発するイーネットジャパンを今期も指導強化してまいりますので、引き続き、ご指導ご支援頂きますよう、お願い申し上げます。



## 2 通信事業子会社(株)テレマックスおよびソロン(株)

## 更なる躍進を目指して

電話会社の一次代理店であるソロン株式会社と駅前立地の携帯電話、PHS専門店を運営する株式会社テレマックスの2社が通信事業の関連会社となっております。激しい価格競争は依然続いていますが、従業員の質の向上や無用な値引きを抑えたと、さらにはバックオフィスを含むオペレーションの改善による経費の抜本的な削減、不採算店のスクラップ推進などで2社共に前年同期比、大幅な増収増益決算となっております。また、お客様の利便性を重視し、「電子マネー」機能やBluetooth機能搭載といった第三代携帯電話の拡販、普及に注力致しました。2005年度には、同じ電話番号で他社の携帯電話事業者に変更可能な「ナンバー・ポータビリティ」の開始に伴い、キャリア間の垣根を超え、成熟化が進む携帯市場の活性化が見込まれます。したがって、好調な業績を維持すべく、引き続きお客様の立場に立って、利便性の高い商品の普及とサービスの一層の向上に努めてまいります。なお、前期は高田馬場店、下北沢店、府中店を含め計12ヶ店出店し、6ヶ店閉店致しました。商圏が拡大できる地域への出店には今後も積極的に取り組んでまいります。





## ■ 会社の概要 (平成17年6月25日現在)

商 号	株式会社 ノジマ (店頭登録：7419)	
英 文 名	NOJIMA CORPORATION	
本店所在地	〒229-1122 神奈川県相模原市横山1-1-1 TEL：042(753)1422 FAX：042(758)6560 URL：http://www.nojima.co.jp	
設 立	昭和37年4月	
資 本 金	15億2,957万円	
役 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取締役兼代表執行役社長 / 野島 廣司</li> <li>● 取締役兼代表執行役 / 三枝 達実</li> <li>● 取締役兼執行役 / 中塚 康二</li> <li>● 取締役兼執行役 / 庄司 友彦</li> <li>● 取締役 兼 執行役 / 石坂 洋三</li> <li>● 取締役 兼 執行役 / 米津 正義</li> <li>● 取締役 兼 執行役 / 池戸 亨</li> <li>● 取締役 兼 執行役 / 桜井 威</li> <li>● 取締役 兼 執行役 / 仙波 昂 (社外)</li> <li>● 取締役 / 小林 稔忠 (社外)</li> <li>● 取締役 / 戸谷 雅美 (社外)</li> <li>● 取締役 / 北村 一夫 (社外)</li> <li>● 取締役 / 梅津 武 (社外)</li> <li>● 取締役 / 石井 允三幸 (社外)</li> <li>● 執行役 / 佐藤 莊二</li> <li>● 執行役 / 伊藤 良司</li> <li>● 執行役 / 佐藤 丈三</li> <li>● 執行役 / 温盛 元</li> </ul>	
社 員 数	529名(平成17年3月31日現在) 平均年齢 / 31.8歳	
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコン、プリンター等のIT・情報関連</li> <li>● 携帯電話、PHS、FAX等の通信関連</li> <li>● TV、ビデオ、ムービー等のAV関連</li> <li>● ゲーム機器の家庭用ゲーム関連</li> <li>● エアコン、冷蔵庫、電子レンジ等の家庭用電気製品の販売</li> </ul> <p style="text-align: right;">各種機器及びソフトの販売</p> <p>※ 店舗名称は、「ノジマ」「コムドック」「でんわ館」と専門性を活かした独自の業態開発で展開</p>	
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)イーネット・ジャパン / インターネットショップ「い〜でじ!!!」運営</li> <li>● ソロン(株) / 通信機器卸売</li> <li>● (株)テレマックス / 駅前立地型携帯電話・PHS等通信機器専門店</li> <li>● (株)オー.ティ.エス / 人材派遣業</li> </ul>	
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソニーマーケティング</li> <li>● NECパーソナルプロダクツ</li> <li>● シャープエレクトロニクスマーケティング</li> <li>● 三菱電機ライフネットワーク</li> <li>● キヤノン販売</li> <li>● ボーダフォン</li> <li>● 松下コンシューマエレクトロニクス</li> <li>● 東芝コンシューママーケティング</li> <li>● 富士通パーソナルズ</li> <li>● エプソン販売</li> <li>● NTTドコモ</li> <li>● au</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>	
取 引 銀 行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京三菱銀行 / 相模原支社</li> <li>● みずほ銀行 / 町田支店</li> <li>● 横浜銀行 / 相模原駅前支店</li> <li>● UFJ銀行 / 新宿新都心支店</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>	

## ■ 営業店舗 (平成17年6月30日現在)

<p><b>神奈川県</b></p> <p>相模原市 ● 古淵本店 042-767-5561 ● 相模原店 042-758-1245 ● ComDock 相模原店 042-753-1516 ● ユーフロント相模原店 042-704-1306</p> <p>津久井郡 ● 新城山店 042-783-0611</p> <p>座間市 ● 座間店 046-298-1701</p> <p>厚木市 ● NEW厚木店 046-296-6121</p> <p>愛甲郡 ● 愛川店 046-284-1562</p> <p>伊勢原市 ● 伊勢原店 0463-91-1214</p> <p>秦野市 ● 秦野店 0463-83-1214 ● ユーフロント秦野店 0463-85-5937</p> <p>川崎市 ● 東名川崎店 044-871-8371 ● 溝の口店 044-822-2525 ● ComDock 溝の口店 044-812-2404</p> <p>横浜市 ● NEW青葉台店 045-962-4886 ● 横浜四季の森店 045-958-1561</p> <p>藤沢市 ● 藤沢店 0466-31-6377 ● 湘南台店 0466-46-7822</p> <p>茅ヶ崎市 ● 茅ヶ崎店 0467-54-0880</p> <p>綾瀬市 ● 綾瀬店 0467-79-5279</p> <p>小田原市 ● 鶴宮 家電館 0465-49-1230 ● 鶴宮店 0465-45-2345</p> <p>足柄上郡 ● 大井松田店 0465-82-8168</p> <p>足柄下郡 ● 湯河原店 0465-64-1688 ● ComDock 湯河原店 0465-64-1687</p> <p>鎌倉市 ● 鎌倉店 0467-42-1422</p> <p><b>東京都</b></p> <p>足立区 ● 北千住 マルイ店(8F) 03-3888-7571</p> <p>中野区 ● 丸井中野本店(A館4F) 03-3229-2011</p> <p>町田市 ● 忠生店 042-792-3151 ● 多摩境店 042-700-0651</p>	<p><b>東京都</b></p> <p>町田市 ● NEW鶴川店 042-737-6031</p> <p>国分寺市 ● マルイファミリ 一園分寺店(7F) 042-326-6511</p> <p>八王子市 ● 八王子南店 0426-64-1214</p> <p>小平市 ● 小平店 042-343-1422</p> <p>青梅市 ● NEW青梅デジ タル館 0428-32-1215 ● 青梅家電館 0428-31-0850</p> <p>あきる野市 ● 秋川店 042-559-1400</p> <p><b>埼玉県</b></p> <p>所沢市 ● 所沢本店 04-2903-1481 ● ユーフロント所 沢店 04-2903-1523 ● 東所沢店 04-2951-1545</p> <p>さいたま市 ● 大宮店 048-661-8366 ● 浦和店 048-712-4811</p> <p>上尾市 ● NEW上尾店 048-773-5577</p> <p>越谷市 ● 越谷店 048-979-6851</p> <p>吉川市 ● 吉川店 048-984-1020</p> <p>入間郡 ● 三芳店 049-274-1650</p> <p><b>千葉県</b></p> <p>市川市 ● 市川店 047-329-6901</p> <p><b>静岡県</b></p> <p>伊東市 ● 伊東店 0557-35-3001</p> <p>沼津市 ● 沼津店 055-927-2951</p> <p>裾野市 ● 裾野店 055-994-1530</p> <p>富士市 ● 富士店 0545-65-7021</p> <p>静岡市 ● 静岡店 054-280-1071 ● 岡町店 0543-55-0395 ● 藤枝店 054-647-2222</p> <p>掛川市 ● 掛川店 0537-61-9661</p> <p>磐田市 ● 磐田店 0538-21-2371</p> <p><b>長野県</b></p> <p>松本市 ● 松本店 0263-85-4457</p>	<p><b>長野県</b></p> <p>南安曇郡 ● 豊科店 0263-71-1570</p> <p><b>山梨県</b></p> <p>甲府市 ● NEW甲府店 055-228-2911</p> <p>都留市 ● 都留店 0554-46-1422</p> <p>富士吉田市 ● 富士吉田店 0555-30-0011</p> <p>韮崎市 ● 韮崎店 0551-30-0021</p> <p><b>新業態店</b></p> <p><b>神奈川県</b></p> <p>藤沢市 ● オーディオ スクウェア藤沢店 0466-31-0603</p> <p><b>東京都</b></p> <p>港区 ● 六本木店(ドコモ取扱) 03-5771-4736 ● 六本木店(DDI au、ツーカー、ボーダフォン取扱) 03-5771-4737 ● 六本木店(BB他取扱) 03-5771-4738</p> <p>府中市 ● でんわ館府中店 042-358-5511</p> <p><b>通信専門店</b></p> <p><b>神奈川県</b></p> <p>相模原市 ● でんわ館 相模原店 042-769-6928 ● auショップ相模原店 042-751-5007 ● ボーダフォンショップ相模原店 042-769-0075 ● ツーカーショップ相模原店 042-769-6932</p> <p>● ボーダフォンショップ相模原駅ビル店 042-730-7861</p> <p>厚木市 ● でんわ館EXPRESS 厚木店 046-297-1030</p> <p>川崎市 ● ドコモスポット向ヶ丘遊園店 044-900-0150 ● ドコモショップ新百合ヶ丘店 044-969-5720 ● ボーダフォンショップ新百合ヶ丘店 044-959-1270</p> <p>横浜市 ● ドコモスポットたまプラーザ店 045-905-2477</p> <p>棟原市 ● ドコモショップ棟原店 0548-34-5161</p> <p>小田原市 ● でんわ館EXPRESS 鶴宮店 0465-45-2344</p> <p><b>東京都</b></p> <p>小平市 ● でんわ館 小平店 042-343-5401</p>
<p><b>神奈川県</b></p> <p>相模原市 ● ミウイ橋本店 042-700-7559</p> <p>横浜市 ● ダイエー戸塚店 045-860-1333 ● モザイクモール港北店 045-914-2857 ● ダイエー三ツ境店 045-360-6248 ● ランドマークプラザ店 045-222-5200 ● イトーヨーカドー上大岡店 045-840-0234 ● エスポット新横浜店 045-533-5281 ● 京急ストア鶴見東店 045-508-6181</p> <p>川崎市 ● マルエツ溝の口店 044-822-9326 ● アコルデ新百合ヶ丘店 044-955-6028 ● 川崎DE店 044-221-0071</p> <p>藤沢市 ● 藤沢OPA店 0466-29-0590</p> <p>平塚市 ● ラスカ平塚店 0463-20-2031</p> <p>小田原市 ● ダイナシティイーストモール店 0465-46-1151</p> <p>横浜質市 ● ショップバースプラザ横浜質店 046-820-0168</p> <p>逗子市 ● マルエツ逗子店 046-870-6971</p>	<p><b>東京都</b></p> <p>江東区 ● 東京イースト21 店 03-5634-7481</p> <p>● 西大島駅前店 03-5858-0311</p> <p>足立区 ● 西新井トスカ店 03-5681-6001 ● エトセトラ綾瀬 店 03-5673-5231</p> <p>大田区 ● 大森プリモ店 03-5764-8241</p> <p>板橋区 ● ダイエー成増店 03-5967-0388 ● イトーヨーカド 一上板橋店 03-5921-0921</p> <p>杉並区 ● 阿佐ヶ谷ダイヤ 街店 03-5364-1671</p> <p>町田市 ● カルフル南町 田店 042-788-0521</p> <p>西東京市 ● ひばりが丘ハル コ店 0424-25-5030</p> <p>多摩市 ● グリナード永山 店 042-356-8761 ● 丘の上プラザ店 042-338-5901</p> <p>日野市 ● auショップ高幡 不動駅前店 042-599-7431</p> <p>八王子市 ● 京王八王子SC 店 0426-60-5023</p> <p>世田谷区 ● 成城学園前店 03-5429-0581 ● 下北沢駅前店 03-5779-3621</p>	<p><b>東京都</b></p> <p>新宿区 ● 高田馬場店 03-5292-0531</p> <p>府中市 ● くるる府中店 042-358-2521</p> <p><b>埼玉県</b></p> <p>所沢市 ● 小手指駅前店 042-949-2223 ● 新所沢バルコ店 042-925-8714</p> <p>入間市 ● 入間べべ店 04-2963-2263</p> <p>入間郡 ● ビバモール埼玉大井店 049-256-8811</p> <p>飯能市 ● 飯能サピア店 042-971-1441</p> <p>蕨市 ● イトーヨーカドー錦町店 048-447-7735</p> <p>越谷市 ● 新越谷ヴァリエ店 048-986-0412</p> <p>桶川市 ● 桶川マイン店 048-789-0701</p> <p>加須市 ● 加須カクタラパーク店 0480-63-3211</p> <p><b>千葉県</b></p> <p>千葉市 ● プレナ幕張店 043-299-6100</p> <p>船橋市 ● サミット馬込沢店 047-429-1408</p> <p><b>静岡県</b></p> <p>静岡市 ● 清水店 0543-44-6811</p>

### テレマックス営業店舗

## ■ 株主メモ (平成17年3月31日現在)

決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基 準 日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 / 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先)	〒171-8508 / 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120)707-696(フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 紙	日本経済新聞 ※ 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ (http://www.nojima.co.jp/inv/index.html)に掲載しております。

### 株主優待制度

株 主 優 待 券	3月31日及び9月30日現在で議決権を有する株主に対し、「株主優待券(10%割引)」を年2回贈呈
贈 呈 基 準	所有株式数100株以上500株未満保有の株主に対し、10,000円の優待割引券(1,000円券×10枚)を1冊、同500株以上2,000株未満保有の株主に対し、25,000円の優待割引券(1,000円券×25枚)を1冊、同2,000株以上保有の株主に対し、2冊(50,000円)をそれぞれ半期毎1回、贈呈する。
利 用 方 法	現金、デビットカード、ノジマカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により通常売価の10%が割引になる。またクレジットカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になる。
有 効 期 限	● 3月31日発行基準の優待割引券 / 翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券 / 翌年7月31日まで有効
取 扱 店 舗	● 株式会社ノジマの全店舗 ● 株式会社テレマックスの全店舗 ※ ノジマグループ各社の店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社のお取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、アンケートハガキ、ファックスないしメール(info@nojima.co.jp)を使って、(株)ノジマ人事総務グループ宛に住所、氏名、電話番号、株主NO.と共に、商品名、メーカー名、型番名等をお知らせください。当社からご連絡させていただきます。